

PEACE HIRAKATA

JCI HIRAKATA PRESS
2022.10 vol.57



お笑いタレント
キンタロー。氏

表紙にヒラカッターは何体いるでしょう？



目次

- P2.3 理事長対談
- P4.5 創立60周年事業報告
- P6.7 理事長対談 Part 2
- P8.9 事業報告・月例会報告
- P10.11 ... 会員拡大報告、アンケートetc.

枚方市出身YouTuber
岡野 タケシ弁護士



Junior Chamber International Japan
一般社団法人枚方青年会議所



一般社団法人枚方青年会議所は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

Instagram → hirakatajc

JCI枚方 検索
クリック!



【枚方の印象について】

松下理事長：本日は、お時間を作ってください誠にありがとうございます。

はじめに、私たち一般社団法人枚方青年会議所では様々な職業のメンバーが集まり、地域のために活動しております。枚方市出身である岡野さんから見ると、枚方の印象をお聞かせください。

岡野氏：私は公務員宿舎で育ったんです。香里→禁野→東香里と育ってきました。印象としては「住みやすい衛星都市」ですね。人口40万人で、今もあまり変わっていないんですよ。本場に「住みよいまち」だなという印象です。あと、東京に出てきて思ったのは、T S U T A Y A の発祥地ということですかね。

【弁護士への道に進むかと思ったきっかけ】

松下理事長：青年会議所での活動は20歳から入会でき、40歳で卒業を迎えます。卒業後は、自身の社業も含め、新たな挑戦ができると考えております。

様々な職業を経て、弁護士への道へと進むかと思ったきっかけをお聞かせください。

岡野氏：きっかけとしては高校を卒業し、東京で一人暮らしをしていくなかで、単純にお金がかかったことです。アルバイトのフリーター生活をしていましたが、このままフリーターで生活して50歳60歳まで続けていくことはできないと思い、弁護士になることにしました。

松下理事長：なぜ弁護士になろうと思ったのですか？

岡野氏：それまで様々なアルバイトをしてきました。枚方でしていたアルバイトで言えば、エアコン取付をしたことがありません。様々なアルバイトをしているなかで、自分の才能が活かされないのではないかと感じました。飲食も自身のセンスに合わないかと思っており、どちらかという勉強は、おそらくセンスが

ただ、本などの紙媒体はレスポンスが遅いですが、インターネットで動画をアップしたら、「いいね」の付き方とか、視聴数とか、すぐレスポンスがわかりやすいですね。

そこでレスポンスが良く伸びていく方向に自分から寄せていったら、少しずつですが人気が出てきたという感じです。

私は法律の専門家ですので、普通に話せば難しい言葉になってしまいますし、正確に話そうとすればするほど難しくなるんです。YouTubeにおいては、学校の授業のように絶対的にしないというコンセプトもっています。その真逆として大人から子どもまで楽しめるように落とし込もうとやっています。

松下理事長：それは調和されていると思いますが、大人から子どもまでと様々な世代の方々に伝えることは難しいことだと思いませんか。

岡野氏：まず難しい言葉は使用しないようにしています。法律問題や時事問題の解説は、時には何百字の文章になってしまうので、そこをギュッと抽象化するなどしています。

松下理事長：青年会議所でも様々なSNSを活用し発信を続けていますが、どのような形で発信するなどの見極めも非常に難しいと考えています。そもそも試行錯誤していくことが一番大事だと感じました。岡野さんは現在、100万人以上の登録者数を記録されていますが、どれくらいの期間でできたのでしょうか？

岡野氏：約2年半で到達することができました。

松下理事長：すごいですね。スピード感が大事になってくると思います。動画をドラッグ流していると、登録者や再生回数も伸びてこないですね。団体として地域を活性化させるならば、本年60周年を迎えるにあたり、長年続いてきた歴史はありますが、発信力も含めて認知されるようにしていかなければと思います。

岡野氏：私から何か提案するとなれば、会のトップである理事長がダンスをするということです。YouTubeやTikTokで、

良いかなと思ったんで、自分が得意としているところで弁護士を選びました。勉強は、好きではなかったのですが、得意な方ではあったと思います。

松下理事長：各々が夢をもって自分のしたいことを説明できるなど、理想はあると思います。その特性として、私たち青年会議所では、様々な職業の人がいて、色々な特性をもった人たちが集まっています。個性を調和させるような世の中になっていけば、地域が活性化される近道になるのではないかと考えております。若い世代は、見出すまで時間がかかってしまうのではと思っており、岡野さんは早めに見つけられたのでしょうか？

岡野氏：試行錯誤しながら色々なアルバイトをしているなか、自分のなかで違うなと思っていたところもあり、弁護士になりました。高校を卒業して弁護士になろうと思うまで3〜4年かかっていますが、自分の特性を見出す上で必要な時間だったのだと思います。

松下理事長：お話を聞き、色々なチャレンジをしていき見極めていくことが大切なんだと思いました。

【YouTuberになろうと思ったきっかけと手法】

松下理事長：多様な個性が調和するまちとは何なのか、地域との関わりを希薄化を食い止め、地域でのつながりを作るために一人ひとりが今できることは何なのかを日々考えております。また、HPやSNS、広報誌を通じて様々な運動を発信しておりますが、周知には至っていない現状もあります。

YouTuberとして法律問題や時事問題の解説に携わり、様々な活動を多くの人びとに向けて発信を続けておられますが、その原動力が何なのか、また、どのような発信が効果的なかなどをお聞かせください。

岡野氏：原動力はやはり見てくれる人がいるということが大きいです。ただ、やり始めたときは見てくれる人が少なかったです。



理事長対談

一般社団法人枚方青年会議所
第62代理事長

松下 明夫

アトム法律事務所弁護士法人
代表社員・YouTuber

岡野 タケシ 弁護士



今だからできること、今しかできないことは何かを常に追求し、邁進し続けてまいります。

最後に激励のお言葉をいただければ幸いです。

岡野氏：社会貢献活動は、すごく大切だと思います。あと、ご自身のお仕事をしながら時間を割いてコミュニケーションに貢献するということは、すごく素敵なことですよ。60年間続いているので今後100年を目指し、枚方に根付く活動を続けていっていただきたいなと思っております。応援しています。

松下理事長：本来このような対談はお受けいただけだと思いましたが、今回は、「枚方」というつながりで対談していただき本当にありがとうございます。今後も一般社団法人枚方青年会議所を宜しく願っています。

松下理事長：最後になりますが、一般社団法人枚方青年会議所では、Follow your passionの目的意識を共有し、不変の志を追求しよう、を2022年度のスローガンに掲げ、青年らしく積極果敢なチャレンジをしております。人びとの活力が減少していき目の前が暗く閉ざされようとも、社会情勢の変化に対応しながら、社会のため、地域のため、住まう人びとのために、希望をもちたらし社会の課題を解決できるよう行動する必要があります。

創立60周年

事業報告

創立60周年記念式典

JCI Junior Chamber International Japan
一般社団法人枚方青年会議所

記念式典



「これまで一般社団法人枚方青年会議所に関わってきていただいた全ての人たちに、感謝の気持ちを込めた記念式典・祝賀会を開催したい。」そんな想いをもって1年間事業を構築してきました。記念式典・祝賀会の開催当日は行き届かない点も何かとあったとは思いますが、皆様の温かいご支援のおかげで、無事盛大に開催することができました。そういった意味でもこの記念式典・祝賀会は、改めて地域の皆様や他地域の青年会議所の皆様に感謝することのできた良い機会でありました。創立60周年運営委員会委員長として、この事業を推進することは、大きなプレッシャーであり、開催当日は不安しかありませんでしたが、白石実行委員長をはじめとする多くのメンバーに助けられ、その心配は杞憂に終わり、メンバーの皆様にも感謝しかありません。私たちは日ごろ、様々な公益事業を通じて明るい豊かな枚方の創造を目指しています。この記念式典・祝賀会で伝え、伝わった「感謝」の気持ちを胸に、これからも皆様と共に事業を行い、枚方のまちの発展の一翼を担うことができればと思います。

創立60周年運営委員会 委員長 長田 侑子



枚方チャレンジ～みんなで作ろう！まちのミライ～を通じて、参加してくれた子どもたちだけでなく、協力して下さった地域の企業様、関係諸団体の皆様と交流しながら、枚方イチ楽しい公園を共につくり上げることができました。また、参加して下さった子どもたちも、楽しそうに取り組んでくれたおかげで、関係する大人たちも自然に笑顔がこぼれ一体感が生まれた事業でした。

この事業は、本当に多くの人びとのご協力のおかげで開催することができております。参加してくれた子どもたちや保護者の皆様、全面的にバックアップしていただいた枚方市みち・みどり室の皆様、枚方市造園業協会様、特定非営利活動法人ひらかた緑のNPO様、枚方子ども会議のコーディネーター役として来ていただいた吉本興業の高井俊彦様、そして何より、企画から一緒に悩んで最後まで共にやりきってくれた、帰属意識醸成委員会メンバーには感謝しかありません。このような貴重なチャレンジをさせていただき、本当にありがとうございました。

帰属意識醸成委員会 委員長 細目 恭資



▲ みんなで考えた公園の全体図



▲ みんなで作った公園の全体図



理事長対談 Part 2

お笑いタレント（松竹芸能株式会社所属）

一般社団法人枚方青年会議所 第62代理事長

キンタロー。氏 × 松下 明夫



「生い立ちから、新たな道へ進む」と思ったきっかけ
松下理事長：本日は、お忙しいなか、お時間を作っていただきありがとうございます。

はじめに、私たち一般社団法人枚方青年会議所では様々な職種の人々が集まり、地域のために活動しております。現在、約200名のメンバーが在籍し、各々が会員相互の啓発と交流を図り、自身の長所を活かし短所を補いながら、日々、社会の発展に貢献しております。私たち青年は、輝かしい未来を創るために、時代に則した対応も加え、わがまち枚方の「まちづくり」と、その想いをつなぐための「人づくり」を実践しております。キンタロー。さんが、現在の道へ進むと思ったきっかけ、また、枚方の短期大学をご卒業されているとのこと、枚方の印象や思い出などをお聞かせいただければ幸いです。

キンタロー。氏：小さい頃からお笑い芸人になりたいという夢があったんですけど、周りからは反対されたりしていました。私は結構本気だったんですけど、お笑い芸人は限られた人しかなれないんだって、周りから言われていました。お笑い芸人になるために高校を卒業し、養成所に入って学びたいとは思っていましたが、一握りの人にしかできないという声、最終学歴が高校卒業で、万が一就職しなければならぬ可能性もあるということも踏まえて、大学に進む道を決めました。

当時は、まだ学歴社会でしたし、怖いと思う部分がありました。ただ、お笑い芸人になりたい気持ちは変わらなかったで、お笑いといえは大阪ですし、高校卒業時点で一番得意だった教員が英語ということもあり、英語の大学もしくは短大にしよう、関西で英語の大学がないか探した結果、私の考えにぴったりの関西外国語大学に進学することにしました。

関西外国語大学には短大があったので、とりあえず短大に入学し、そこから、お笑い芸人になりたいと思ったから挑戦してみよう、やっぱり4年間通って、そうしたら編入制度で変更することもできました。当時は、学力的にも、まず短大に入るほうが受かりやすかったこともあり、さらに、大阪にいれば養成所やオーディションが受けやすい利点もあると考え、友達を誘って愛知県からオーブンキャンパスに行きました。最初は「枚方」って読めませんでした。(笑)

枚方に着いた時に、なんか関西っぽくないと正直思いました。大阪といえは、道頓堀や心齋橋のイメージがなく、初めて見た時は、綺麗なシユツとしたまちだなと析を行い、結果を導きだしたかなどをお聞かせいただければ幸いです。

キンタロー。氏：生きてみると、なんとなく普通の一般企業に就職し、会社員になって、結婚して子供を産むっていうのが、理想的な大人の道という刷り込みがあり、それが一番真つ当な道であり、できれば、逸れず歩んでいった方がいいという想いが自分にもあって、少しでも逸れるなと思ったから自己嫌悪に陥ることもありました。当時は就職氷河期で、周りの友達も就活で真っ黒に髪を染めて、スーツ着て20社くらい回ってるとか、50社くらい回ってるとか、外国語大学なのに、就職先が飲食店や服屋さんなど、闇雲に手あたり次第行っているように感じてしまいました。私は、お笑い芸人になりたいという想いは捨てきれず、でも、刷り込まれた理想像を考えると、お笑い芸人は逸れ過ぎていると感じることもありました。だけど、自分は50社も就活するのは厳しいなと思っていました。一番折り返しのつくダンス講師の仕事がありました。しかし、刷り込まれた理想像からは逸れていると感じ、なんとか軌道修正しようとして、運良くOLとして勤めることができ、理想とされているベリシツクな場所に行けて、めでたしめでたしと思っていたのですが、そこで、自分が何もできないと気付かされたのです。パソコンが触れない、様々なソフトを使わないければならない、きっちり作業ができないこと、役立たずな感じを体験させられた時は苦痛しかありませんでした。そこで、人には向き不向きがあることを学びました。みんなが理想通りにいけばベストだと思っていました。それは、誰か一人のパターンだけで、必ずしも自分が当てはまるわけではないということに気付かされました。

やはり、自分が役に立っていることをやりたいですし、当時、結婚ラッシュで余興を頼まれることが多く、余興を「一から作り上げて披露すると、みんなに喜ばれました。その時、自分がみんなの役に立っていると感じました。その結果、自分の向いている道は、やはりお笑い芸人なのではないかと強く思うようになりました。その時に、これまでの理想像は人それぞれだと思い、お笑い芸人の道に進む勇気ができました。

松下理事長：ありがとうございます。実体験を基に、「ご自身の向き不向きのお話をお聞きし、私自身も、青年会議所に所属する様々な職種のメンバーから刺激を受ける」ところもあります。やりたいことをやって仕事につなげていきたいなと思いますが、なかなか難しいところではあります。しかし、勇気をもって挑戦していくことが非常に大

思いました。印象が強いのは枚方市駅です。駅の近くに住むことになって、色々買い揃えていくために、自転車屋さんに行った時に、店主がフレンドリーで、前から知っている家族のような感じで接してくれました。割と近所付き合いが強いイメージがあります。ホームシックになって、愛知県に帰りたと思ったこともありました。支えてくれたのは、近所でお店をしている人たちでした。

松下理事長：ありがとうございます。周りの方々に支えられて過ごされてこれたんですね。キンタロー。さんは社交ダンスもされていたと思いますが、学生時代がきっかけでしたか？

キンタロー。氏：英語の大学に入りましたが、心の中ではお笑い芸人の道を志していたので、自分の志に近い部活に入ろうと探していました。放送部がいいのかなと思っていましたが、活動が毎日だったので、さすがに毎日嫌だなと思って。また、チャリディング部も見ましたが、こちらも毎日活動しており、面白そうだけど結構アクロバティックだし、怪我したら嫌だなと思っていました。そんな時、すごい異彩を放つた集団が目に入りました。それが競技ダンス部でした。初めてラテンの踊りを見て、これまでの社交ダンスのイメージではなく、ラテン系のパリのダンスで、今までに見たことのないペアダンスを見て、特に注目したのは顔の表情でした。基本的に表情を独特の笑顔で表現していて心を奪われました。日常たちがしないような顔の表情で、これを私が踊れたら面白いのではないかなと思って話を聞きにいったら、活動日数が週2回とのこと、活動日数ももちろん多かったのもあり(後に活動日数は前記の部活と同様、

事であるとお聞きし、改めて考えるきっかけとなりました。環境の変化を認識し自主的に学んだこと」

松下理事長：新たな分野に対する知識を得ることが重要だと考えております。私たち一般社団法人枚方青年会議所メンバーも、毎月、様々な分野で活躍されている方を講師としてお招きし、日々学んでおります。また、これまでの経験は重要ではありますが、新たな道に進むにあたり、これまでの常識が全く違うものになると感じております。一般社団法人枚方青年会議所は本年60周年を迎え、これまで先輩諸氏が積み重ねたことを守り続けながら、環境の変化に対応した活動が求められていると思っております。現在の道に進むにあたり、どのような環境の変化を認識し、学びを得てこれたのかなどをお聞かせいただければ幸いです。



キンタロー。氏：枚方に6〜7年住んでダンス講師をしていましたが、一旦、愛知県に戻ることになりました。枚方を離れる時は、マンションの大家さんから想い出にブローチをいただきました。諦めきれずにダンス講師として、愛知県でダンス講師をしたりもしましたが怪我をしてしまい、一流のトップダンサーになるには厳しいと思いました。怪我もしてしまっし、いい人に巡り会えないし、もう厳しいかなんて思っていた時に、ちょっとOLになって、人には向き不向きがあると悟って、お笑い芸人になるぞって決意した時に、再び大阪に行くことになっていました。折角再出発するのだから、まだ自分のなかで挑戦していない、まっさらな土地で勝負したいと、心機一転、東京に行くことになりました。当時は、東日本大震災があった年で、周りからも反対されましたが、仕事を辞めて後には引けない状況もあり、反対を押し切って東京に行きました。

松下理事長：ありがとうございます。当時、枚方におられた時の人とのつながりは、お話を聞かされ、キンタロー。さん自身が温かい人であるということが感じられます。また、転機があった時でも、それを振り切って実行する力をお持ちであると感じました。我々も、しっかりとメンバー同士が支え合い、逆境に押し向かっていること、自身の志や夢も含めてつなげていくということは非常に大事であると感じました。

松平 明夫：一般社団法人枚方青年会議所では、「Follow your passion」の意識を共有し、不変の志を追求し

練習日を入れたらほぼ毎日と判明。騙されました笑、競技ダンス部に入り、自分の夢がスタートしました。

松下理事長：ありがとうございます。ところで、お笑い芸人を小さい頃から目指してこれたと思いますが、経緯などはあったのでしょうか？

キンタロー。氏：お笑いとお出会う前は、ちょっと人見知りをするところがあり、友達づくりに苦労していました。小学校3年生の時の担任が、柔軟性があった面白先生で、私のおかしな部分を気付いてくれました。お笑いというツッコミのポジションの目標を見てくれた先生でした。笑わそうと思ってやっていたわけではなく、突っ込まれると、それがおかしかったって思って笑えてきて、自分の面白い部分を引き出してきて、嬉しいと思えるようになりました。ある時、音楽を流すから自由に踊ってくれと先生から言われ、小学校の当時って、やはり男子が最強で、羞恥心も全く自由自在に踊って目立っていました。そんななか、先生が「これから、先生が面白いと思うと思うやつはようかん台黒板の前にある台に上げていくから」って謎の総選挙が始まったんです。そしてなんと、まさかの私だけ唯一女子で選ばれたんです。ポーカーフェイスでツツツツしているイメージがあったらしく、突然呼ばれて踊った時に、どよめきが出てきて、笑いを取れた時に電流が走った感覚になり、人を笑わせる快感をその時に感じ、人と人との壁が取り払われた感じがしました。周りの見る目も変わり、自分が面白いことをすれば友達ができるってこと、友達づくりのツールとして自分のなかで助けられました。面白さを突き詰めていけばいいよと、周りから「将来お笑い芸人になっただけがいいよ」と言われ、それを真に受けて、お笑い芸人になりたいと思いました。

松平 明夫：詳しくお話をいただき、ありがとうございます。

松平 明夫：「今の自分を知るこの大切さ」

松平 明夫：一般社団法人枚方青年会議所では、枚方に住まう全ての人が希望と生きがいを持ち、自ら挑戦し続けることができる持続可能なまち枚方の創造を目指しており、地域のつながりを作るために「一人ひとりが今できることは何なのかを日々考えております。新たな道へ進むためには、「今の自分」でできること」でできるもの」が重要で、現在の道に進むにあたり、どのような自己分

よう、を2022年度のスローガンに掲げ、青年らしく積極果敢なチャレンジをしております。人びとの活力が減少していくのが暗く閉ざされようとも、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、社会のため、地域のため、住まう人びとのために、希望をもちたらし社会の課題を解決できるよう行動し、今だからできること、今しかできないことは何かを常に追求し、邁進し続けてまいります。最後に激励のお言葉をいただければ幸いです。

キンタロー。氏：私の本名は、「志を保つ」で「志保」といいます。スローガンで「志」が入っていますが、やはり「志」は大事だと思えます。人は生きていけば、嫌なこともありますし、調子がよくないなど色々なことが起こります。スローガンに「志」があることで、迷いそうになった時の道標となって助けてくれます。たとえ道が逸れた場合でも気付かやすくなります。1年通して掲げているスローガンで、高みを目指して頑張ってほしいと思います。そして、枚方というまちには、人と人とのつながりが他のまちと比べて、みんながフレンドリーなイメージがあり好きです。これからも、血はつながっていませんが、みんなが家族のような感じで、枚方がもっている素敵な部分をもっとパワーアップさせてほしいと思っています。

松平 明夫：ありがとうございます。是非とも、また枚方に帰ってきていただいで、枚方青年会議所にもお越しいただけたいと思います。本日は、貴重なお時間をいただき本当にありがとうございました。引き続き、枚方青年会議所を宜しくお願いたします。

取材・記事・写真：磯崎一雄・米田健人・池田玲実



月例会報告

事業報告

2 月度例会

**「変革を創る
リーダーシップ」**
～自分らしく成果を出す秘訣～

講師：谷田 昭吾氏



3 月度例会

「Vision making」
～持続可能なまちを創造するには～

講師：藤原 悟氏



4 月度例会

「意識変革」
～人の心を動かし巻き込み改革～

講師：てんつくマン(軌保 博光)氏



近畿地区大会 高槻大会

本年は、高槻の地で近畿地区内92青年会議所が集まりました。また、ブース出展では、新入会員が中心となって枚方の魅力を発信することができました。



5 月度例会

**「思っているだけでは
伝わらない！」**
～発信手法は十人十色～

講師：エド・はるみ氏



北河内地域合同例会

「コロナを超えて」
～北河内を元気にしよう～

講師：更家 悠介氏



7 月度例会

「伝承」
～歴史があるから今がある～

講師：山下 弘枝氏




友好JCとの交流

高知県四万十市を拠点とするJCI中村との交流事業を3年ぶりに行うことができました。

**第二回定時総会
懇親会**

本年度前半の報告と、後半の方向性を共有する「第二回定時総会・懇親会」が開催されました。



在庫情報はコチラ
オートローン取り扱い



あなたの為だけの車を探します!

FiveA TEL:072-861-0070

〒573-0047 大阪府枚方市山之上4丁目7-14

HONGO

一 建築一式

株式会社本郷工務店

〒572-0835 大阪府寝屋川市日乃出町12-8
TEL (072)800-4006 FAX (072)800-4005

Horiuchi.

行政書士 堀内法務事務所
行政書士

堀内和輝

072-812-3543

大阪府寝屋川市本町6番10号
本町栄ビル2階



清水工業

シーリング工事・防水工事・塗装工事
サイディング工事・総合リフォーム工事

代表
清水 健太

〒614-8374
京都府八幡市男山石城8-11
携帯電話・090-5134-7979
TEL/FAX・075-925-7597
E-mail・shimizu-kougyou@outlook.jp

代表
林 勇太

Yuta Hayashi

Nexus

〒576-0051 大阪府交野市倉治7丁目32-3 Bese 桜道102
TEL 072-896-8832
E-mail nexus.katano@gmail.com
HP sign-nexus.jp

DAIKI

一級建築士事務所

〒573-0073 大阪府枚方市高田二丁目35-2
TEL:072-860-2811 / FAX:072-860-2812
mail:info@daiki-ltd.co.jp 担当：濱田



QRコードを読み込んで、フォローしてください!

PEACE HIRAKATA vol.57

アンケートにご協力ください。



【ヒラカッターを探せ! コーナー】

ヒラカッターが表紙を除くページのどこかに2ヶ所隠れています! 隠し場所の正解はJCI枚方の公式HPをご覧ください! ^



会員拡大報告

93名入会

2022年度拡大運動を終えて

先輩諸氏の功績により、今やJCI枚方は拡大LOMと言っても過言ではありません。私はその拡大運動の旗振り役として1年間、重責を感じながら先導してきました。全国的にも会員数の減少が問題とされ、我々にとって多くの出会いの場、自己研鑽の場としての機会をいただいたJCI枚方も例外ではありませんでした。そんななか、これからこの場で出会い、学ぶ、未来のメンバーのためにJCI枚方を継続していくという想いが現役メンバーの熱源となり、松下理事長の号令のもと、93名の同志を迎え入れることが出来ました。また、先輩諸氏からの多くのご協力もいただき、心の支えとなりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

本年度の拡大運動を終えた今、何より大事なことはメンバーの定着を最優先にしなければなりません。メンバーに「楽しい」を伝播し、一緒に自己研鑽することで友情を深め、JCI枚方での活動が自身の成長に必要な不可欠であることを示し、自ら獲りにこなれば与えられない機会であることを伝えていきたいです。

結びになりますが、社業では効率を最優先に考えますが、回り道を仲間とすることで、本当に様々な経験をさせていただきました。このような貴重な機会をいただいたことを感謝しています。

会員拡大委員会 委員長 本郷真司

私たちが作りました!!

先輩諸氏から脈々と受け継がれてきた
広報誌「PEACE HIRAKATA」。

今年度は、55号から57号の合計3号発刊することができました。

先輩諸氏から受け継がれてきた「PEACE HIRAKATA」というバトンをつなぐことができ、私たちも発刊者として、名を残すことができました。

今年度、広報活動を担っていくなかで、どうすればJCを知ってもらえるのか、どうすれば読んでもらえるのか、そもそも広報活動とは何かを考えることができました。

まだまだ明確な答えは出ていませんが、老若男女問わず、信頼関係を築くための第一歩を踏み出す要因ではないかと考えています。そのためには、広報活動に努めていかねばならないと痛感しました。

一般企業においても、広報活動は大人が何人も集まり、今の流行は何か、何が人の心を掴むのかを頭から煙が出るほど考え抜き作り上げているでしょう。その経験をさせていただいたことは、私たちの人生のなかで貴重な経験となり、いつか実を結ぶと確信しています。この度は、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



JC運動発信委員会



JAPAN FRESH FISH

- ・イズミヤ交野本店
- ・トナリエ南千里 吹田店
- ・アプロ藤井寺店
- ・トナリエ大和高田内 奈良店
- ・JAファーマーズへぐり内 生駒店

本部事務所
大阪府交野市私部西1-11-5 HIKO荻番館305号室
TEL 072-845-4619 FAX 072-845-4620
株式会社日本シーマート 代表取締役 森本 泰博



株式会社JOB警備保障
株式会社ジョブ建設

代表取締役 米田 勉
〒573-1178 枚方市渚西1丁目22番10号
警備: 072-840-6300 建設: 072-840-8086
https://job-k.jp

憧れを、カタチに

リフォーム リノベーション

・ご相談 無料
・お見積り

072-808-8980
ayasho.jp



設計・製作・施工・デザイン・申請代行
のぼり・ちょうちん・ステッカー・電飾・箱文字
その他相談 無料で乗ります!

株式会社 松田工芸社
TEL.072-847-5251



【事業内容】
保険代理店事業 レンタカー事業 自動車買取事業

【取扱保険会社】
東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〒573-0023
大阪府枚方市東田舎1丁目3番21号 森ビル5階
TEL: 072-841-0550
FAX: 072-841-0551 E-MAIL: 072-844-5192
E-mail: info@airuiken.co.jp
WEB: http://airuiken.co.jp/

株式会社Blessing

結婚したくなったら

Tel:072-807-8358

大阪府枚方市町楠葉1-12-6-2F
info@m-blessing.co.jp





JCI枚方

検索
クリック!



松下建創 株式会社

MATSUSHITA KENSO Inc.

営業品目 / 雨漏り修理 / 防水工事 / 外壁工事 / 住まいのお困り解消 / メンテナンス

573-0014 大阪府枚方市村野高見台9-86
TEL 072-395-0492
FAX 072-395-0493
MAIL info@matsushitakenso.co.jp


web

大阪府知事許可(般-3)第156104号

かかりつけの“いしや”ありますか?

お墓を建てる時に絶対に守らなければならない
枚方石材 5つの約束

- 一つ、たとえ不利な情報であっても、全てお客様へお伝えします
- 一つ、すべて正直に仕事に取り組みます
- 一つ、しつこい営業はいたしません
- 一つ、あなたのお墓を“かかりつけの石屋”として守り続けていきます
- 一つ、わたくしどもは自分の子どもたちに誇れるお墓は建てません!!



枚方産業振興株式会社 枚方石材 / 枚方生花
ご相談・お問合せはコチラ! ★卒業生への花束も承ります!

072-848-1234

枚方石材 検索

損害保険・生命保険の代理店

共保商事株式会社

AFP
2級ファイナンシャル・プランニング技能士
個人資産相談業務

荒木亮輔

〒570-0038
守口市河原町12番2号 小林ビル4階
TEL (06) 4250-5020 FAX (06) 4250-5022
e-mail kyohos.1949feb.12@isis.ocn.ne.jp

株式会社 **片山モータース**

日産チェリー枚方中央販売株式会社

代表取締役 片山 健

〒573-0163 枚方市長尾元町2丁目7-8
TEL (072) 857-1500
FAX (072) 857-1400
web: http://www.katayama-motors.com/

建築・内装軽鉄・内装仕上工事



株式会社 **創信**

SOUSHIN

大阪府建設許可(特-30)第99738号
〒573-1134 枚方市養父丘2丁目22-3
電話 072-867-5719 FAX 072-867-8594

職人がこだわって作る
「旨い」「安定した」「長持ちする」麺づくり

繁盛する麺

三友や食品工業株式会社

大阪府枚方市長尾家島町1-7-1
072-867-0039(代)



磯嶋電工株式会社

電気・空調・防災設備 設計・施工
大阪府知事許可(般-30)第150197号

〒573-0104
大阪府枚方市長尾播磨谷1-2806-4
Tel : 072-896-5806
Fax : 072-896-5807
Mail : info@iso-den.com





ナガタセイサクシヨ
代表 / グラフィックデザイナー

長田 侑子

572-0080
大阪府寝屋川市香里北之町8-24 N 302
TEL 090-7487-4945
MAIL nagataseisakusho.111@gmail.com

YUKO NAGATA

寿司・鮮魚

魚和水産

UOKAZU SUISAN 魚

産地直送よってって 枚方北山店舗内

鮮魚は何でもご相談ください!

別注受付中

大阪府枚方市北山 1-23-1
TEL 072-855-0357





株式会社 **柿丸建設**

代表取締役 柿丸 裕

大阪府枚方市長尾北町1-1794-5
TEL (072) -867-8288

